

林業技術センター
普及班便り
(第32回)

いわての林業人11

一 はじめに

今月は、住田町の松田格さんをご紹介します。



まつだ りくと
松田 格さん

二 人物紹介

【プロフィール】

松田さんは住田町の生まれ。

お父さんが代表を務められている有限会社松田林業の取締役として、経営の一端を担っておられます。

小さい頃から家の仕事として林業が身近にあったこともあり、遊びながら山に親しんでいたそうです。特に、林業機械はおもちゃ代わりだったようで、幼稚園の頃にはバックホウを動かして遊んでいたとのこと、背が小さく、運転席に人がいないように見えたことから、近所から「松

田林業がリモコンバックホウを導入したらしい」という噂が立ったとのこと。

その後、小学校、中学校の夏休みなど長期休みの時はその9割近くを山で過ごすなど、林業漬けの生活を送ってきたそうです。高校卒業後すぐに会社に入社され、現在に至っています。

平成20年度にはグリーンマイスターの資格を取得され、名実ともに林業の中核的担い手として活躍されています。



工場での積み下ろし作業

三 仕事の状況

(1) 初めての仕事

「ずっと家の仕事として林業をやってきたからどれが初めての仕事かわからない」とおっしゃる松田さん。

本格的な仕事としては林内作業車での集材作業だったそうです。

松田さんの現在の主な仕事はトラックのオペレーター。材を山から製材所等へ運んでいるとのことですが、以前はスイングヤーダやハーベスタなど、様々な林業機械を取り扱っていたそうです。

松田さんはまだお若いのですが、機械操作歴は既にウン十年。様々な機械を使いこなしておられるのも納得です。

(2) 会社の仕事

有限会社松田林業は、気仙地区を中心に素材生産を行っています。以前は広葉樹を取り扱っていたそうですが、平成16年にハーベスタを導入した際に業務方針を転換し、現在では針葉樹が主体で、生産した材は、気仙管内の製材所や大型工場などに出荷しているとのことでした。

高性能林業機械を活用して短期間で仕事を仕上げ、山主さんへの還元を少しでも多くしたいというのが会社としての目標だそうです。

(3) 今後の目標

松田さんに今後の目標を伺ったところ、間髪いれずに「松田林業を日本一の会社にする」との回答を

いただきました。

現在、土場でハーベスタを使った造材作業をしているため、残材が大量に発生しているとのこと、これらの林地残材をうまく処理してバイオマス資源として利用し、会社を成長させることが目標だそうです。

人生のすべてを林業に掛け、命がけで林業に取り組む松田さんの姿から、林業に生きる男の生き様を見せられた気がしました。



寒さの中での迅速な作業

四 おわりに

普及班便りでは、これからも森林・林業に携わるさまざまな方々を紹介していきます。

皆様の地域で活躍されている方がおられましたらご連絡ください。

林業技術センター普及班